

2020年7月号

合唱界をつなぐボランティア



IFCMeNEWS

Your IFCMeNEWS is available
in other languages [HERE](#)

IFCMからのお知らせ

IFCMとカタール合唱協会は世界合唱シンポジウム(WSCM 2023/24)の準備に取り組んでいます

国際合唱連合(IFCM)が史上初めて中東地域、カタールに合唱界をお迎えします！ 人類が過去50年類を見ない最大級のパンデミックに直面している今、世界ではさまざまな文化的イベントが保留状態となっています。それでもIFCMとそのパートナー、カタール合唱協会(QNCA)は、次の世界合唱シンポジウム、WSCM 2023/24の準備に、懸命に取り組んでいます！ 次回、世界一大規模な非コンクール形式のこの国際的合唱イベントは、カタールのドーハで開催されます。みなさんも、古い伝統が染みわたり、なおかつ世界に開かれたこの地にぜひいらしてください。

IFCM、QNCA間の契約の調印式は、今年、ニュージーランド、オークランド開催の第12回WSCMで行われる予定でした。悲しいことに、今年は他の数多くのイベントと同様に、WSCM2020も中止にせざるをえませんでした。しかし、よりよい明日をめざして前進するために、わたしたちは、IFCMとQNCAの契約のオンラインによる正式調印の様態をショート[ビデオ](#)で公開させていただきます。ぜひご覧ください！



カタール合唱協会(QNCA)——カタール初の公認の非営利NGO

QNCAは、カタールで公認された国内初の非営利団体です。この協会が公認されたという事実は、実は非常に重要なことです。カタールの一般庶民のコミュニティは、多くの国際非営利団体や、おびただしい数の国営の非営利慈善団体の礎となっています。また、それらコミュニティは、重要な国際イベントをいくつも主催しています。ところが、これまでカタールには、それらのコミュニティが公的に活動するための法制度がありませんでした。しかし、カタール合唱界が2023年WSCM招致への支援を国に求めたことをきっかけに、カタール政府は、QNCA

INTERNATIONAL FEDERATION FOR CHORAL MUSIC monthly electronic newsletter

<http://ifcm.net/>
© 2019 IFCM - All rights reserved



公認に向け、協会の創設者ジョヴァンニ・パシーニとジェニファー・テイネンの努力を後押しすることになり、その結果、必要な法律が整備されたのです。

協会の設立は、カタル合唱界の発展にとって非常に大きな一歩です。なおかつ、これによって、公認と法的資格を得るための法制度が生まれ、カタルの活気ある市民団体やさまざまな草の根的組織はこの制度を利用することができるようになりました。

合唱音楽の世界を変える力を信じないシニカルな人がいたら、このカタルの例を指し示し、人の歌声に文字どおりひとつの国の法律を書き換える力があるということを知らせてあげてください。



左から——IFCM副会長、ガボール・モーツアル、2023年WSCM委員会議長、ジョヴァンニ・パシーニ、QNC A理事、ジェニファー・テイネン、IFCM会長、エミリー・クオ・フォン。IFCMの代表団による訪カタルは、QNC A公認のプロセスを大きく前進させました。写真は、この一団がひと息入れて、カタル内海を取り巻く砂丘を探検しているところです。

“世界音楽の日”に、IFCMと青少年音楽国際連合(JMI)が協力

IFCMと青少年音楽国際連合([Jeunesses Musicales International](#))とヨーロッパ合唱連盟は、世界青少年合唱団を立ち上げた後援団体として長きにわたりともに活動しています。このパートナーシップに基づき、JMIは先日、「[2020年世界音楽の日 ポップアップ・フェスティバル](#)」(6月20日～21日)にIFCMを招待してくださいました。従来、“フェト・ドゥ・ラ・ムジーク/世界音楽の日”は、音楽を街に持ち出し、人々の手に届けることに力を注いでいます。新型コロナウイルスの世界的感染拡大による物理的制約に鑑み、今年の「JMI世界音楽の日 ポップアップ・フェスティバル/カンファレンス」は、

バーチャルの展示スペースで実施され、そのなかでIFCMも当連合のプロジェクトの一部を紹介させていただきました。フェスティバルではその他に、世界各地の若い音楽家によるライブ公演、文化セクターのスタッフや専門家による討論会・ワークショップ・セミナー、オンラインの音楽レッスンなどが行われました。こうした機会を与えてくださったJMIに、心から感謝を申し上げます！



IFCMより、バーチャル対談へのお誘い

活動再開の方策、コロス・ポルトガル主催のバーチャル会議

6月19日、ポルトガル合唱音楽協会、コロス・ポルトガル([Coros Portugal](#))は、ポルトガル、カタルーニャ、スペイン、アメリカの合唱界のリーダーたちを迎え、“活動再開の方策”をテーマに、バーチャル会議を開きました。この際、司会を務めたコロス・ポルトガルのパウロ・ロウレンソ会長からIFCMのエミリー・クオ・フォン会長に、IFCMの今後の計画についてひとこと述べてほしいとの依頼があり、フォン会長は現状について「パンデミックの経験は、過去の問題を明らかにし、将来について考え、学び、研究し、創造する多くの機会をもたらした」との前向きな





見解を示しました。IFCMは、当連合の会員が各々のプロジェクトや活動を継続する一助となるよう、オンラインの新たな可能性をさぐっています。目下、進められているのは、国際的に名高い合唱の専門家たちの提供する学問的なオンライン・コンテンツをIFCMがまとめるというオンライン音楽教育プロジェクトです。専門家の一部はすでにこのプロジェクトに協力する契約を結んでおり、ビデオ講義、総合的ワークショップ、論文、ライブストリーミング、ビデオ会議、ライブやデジタルによるセミナーやマスタークラスを提供することになっています。その狙いは、多くの視聴者、特に開発途上国の人々に、一流の教育と世界合唱界の最新情報を簡単に得られる手段を提供することです。

シング・ユア・ソウル、セント・アンジェラ合唱団(インドネシア、バンドン)の取り組み

2020年6月18日、セント・アンジェラ合唱団([Saint Angela Choir](#))とその指揮者、ロニ・スギアルト、および、マネージャー、ニコラス・リオが、世界各地の指揮者とのオンライン対談の第2回目を実施しました。この2回目のSACトークでは、イスラエルのモラン合唱団([Moran Choir](#))の指揮者・音楽監督のナオミ・ファラン氏が、人生のさまざまな局面において人間の潜在能力開発の手段となりうる合唱のパワーについて話をしました。IFCMもこのSACトークに招かれ、代表としてイヴァ・ラドゥルヴィッチ事務局長が出演して、ふたたびステージに立てる日まで、家でひとりで歌ったりバーチャルで合唱したり、とにかくなんとかして歌をつづけるよう、バーチャルの観覧者に呼びかけました。

こちらでこの対談をお聴きください。[SAC Talk](#)



IFCM創設メンバーからのお知らせ

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)

学びに終わりは無い——ヨーロッパ合唱連盟提供の今後のウェビナー

当分のあいだ、みんなと一緒に歌うことはできないかもしれませんが、だからと言って学ぶこ

とまでやめる必要はありません。ヨーロッパ合唱連盟より、7月のウェブセミナーをご紹介します。テーマは「全国的または国際的（青少年）合唱団のためのオーディションの方法」。講師は、ジュゼップ・ビラ・イ・カザーニャスです。

オーディションはときとして厄介なものとなります。わたしたちはそれをよく知っています！考慮すべきこと、準備すべきことは、山のようにあります。録音機のボタンを何度押しても、これで充分という気はしません。身に覚えがありますか？もしそうなら、2020年7月9日11:00（中央ヨーロッパ時間）のウェビナーにぜひ出席して、「あなたに求められていることは？」「改善できる点は？」「傑出したオーディションを行うには？」など、新たな視点からオーディションについて学んでください。

詳細はこちら。<https://europeanchoralassociation.org/>



合唱界を救う取り組みへの支援

オンライン・プラットフォーム——“デジタル・ステージ”

ロックダウン後に合唱界に広がった、ソーシャル・メディアに関するいちばんの疑問と言え——「オンラインで集団歌唱（コレクティブ・シンギング）を行うにはどうすればよいのか」です。これまでその答えは「反応時間の問題と、現在あるプログラムが音楽演奏より話すことを主眼として作られていることから、わたしたちが目下使用しているプログラムでは、一緒に歌うことは不可能である」というものでした。

そこでヨーロッパ合唱連盟は、ドイツ開催の某ハッカソンの期間中に開発された新たなプラットフォーム、“デジタル・ステージ”（Digital Stage）の共同出資者となることにしました。このプラットフォームの目的は、新型コロナウィルス危機の期間およびそれ以降に、パフォーミング・アート界の人々がオンラインで練習や公演を行えるようにすることです。いまはまだ資金集めと実験の段階ですが、このプラットフォームは、大多数の合唱団やヴォーカル・アンサンブルにとって非常に魅力的な、通信量を抑えられるブラウザ駆動のオプションもあり、わたしたち



んなが求めているツールとなる見込みがあります。詳細は“デジタル・ステージ”のウェブサイト ([website](#)) をご覧ください。

パフォーミング・アート団体が支援する合衆国発・新型コロナウイルスの新研究

おそらくみなさんはこう自問してきたでしょう——「一緒に歌うことの危険性はどの程度なのか?」「わたしの合唱団は、いったいいつ通常の練習や公演ができるようになるのか?」

各合唱団が今後の計画を立てられるようこの疑問に答えるには、研究が必要であることがすでに明らかになっています。練習室での活動を再開した場合の影響に特化し、新型コロナウイルスの新たな研究がアメリカで始まったのは、そのためです。この研究は主として、管楽器奏者や歌手や俳優の生み出すエアロゾルの値と、特定の空間でこのエアロゾル値が高まる速度を調べるものです。ヨーロッパ合唱連盟は共同出資者としてこの研究の過程をしっかりと見守り、結果がわかり次第、その周知に協力する所存です。

新型コロナウイルス資料集——随時更新

ヨーロッパ合唱連盟より、連盟のネットワークに属するすべてのみなさんにお礼を申し上げます。わたしたちの「オンライン・新型コロナウイルス資料集 ([Covid-19 Resource Document](#))」の作成にご協力いただき、本当にありがとうございました。

この資料集は随時更新されており、閲覧する方々によって新たな情報、助言、アイデアが毎日のように追加されています。わたしたちが見落としている情報が何かありましたら、ぜひ追加をお願いします! 合唱界の全員が協力することで、わたしたちはお互いに助け合い、前に進むための最善の道を見つけることができるでしょう!

詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.europeanchoralassociation.org/covid-19>



全米合唱指揮者協会 (ACDA)

2020年全国合唱研究シンポジウム

([The 2020 Symposium for Research in Choral Singing](#))



新型コロナウイルスへの対応策として、2020年全国合唱研究シンポジウムはバーチャルで行うことになりました！ シンポジウムのプレゼンテーション、論文、ポスター、公演は、5月15日～7月25日まで、公開されます。

予定を空けておきましょう

ACDA全国大会“音楽における多様性”

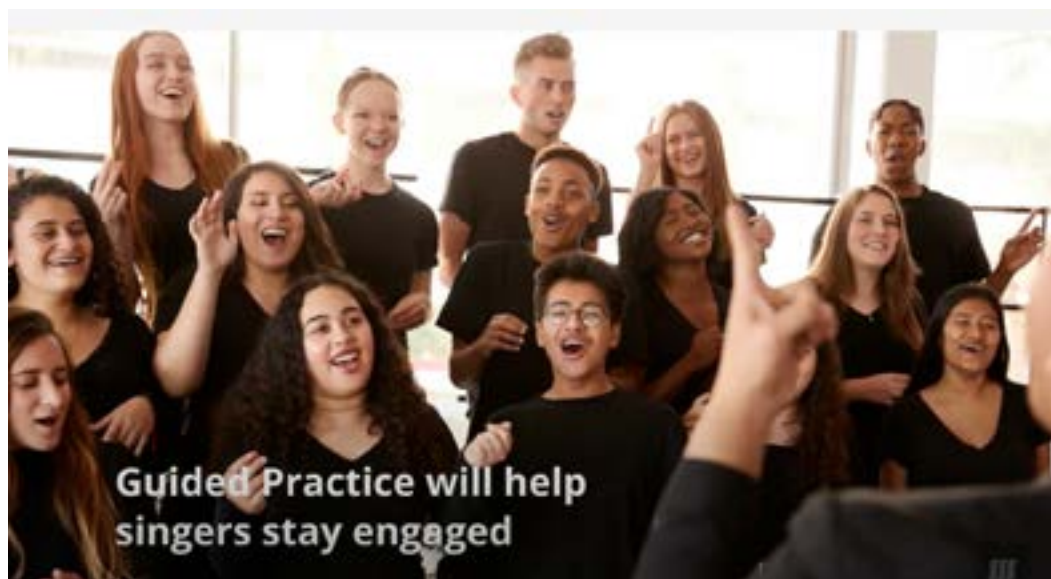
([ACDA National Conference - "Diversity in Music"](#)) (2021年3月17日～19日、テキサス州ダラス)

パンデミックのさなかにある合唱のプロのための情報源

([Resources for Choral Professionals During the Pandemic](#))

ACDAは、特に合唱指揮者と合唱指導者のために、情報、アイデア、ツールのページを作成しました。その大部分は無料で、ページは定期的に更新されます。

合衆国において行動制限がもっとも厳しかったころ、ACDA国際事業常設委員会のT・J・ハーパー議長とティム・シャープ事務局長は、「ACDA——世界とつながる」と銘打った一連のウェブセミナーを行い、世界各地の合唱指揮者と対談しました。参加したのは、ケニア、中国、韓国、スウェーデン、キューバの指揮者たちです。ACDAのYouTubeチャンネル([ACDA's YouTube channel](#))でこの対談をお聞きください。



IFCM会員からのお知らせ

ニュージーランドの学生が歌声のバブルを創造

IFCMと共同で、WSCM2020(7月11～18日、ニュージーランド・オークランド)の中止を発表したのと同じ週、ニュージーランド合唱連盟([New Zealand Choral Federation\(NZCF\)](#))は、連盟主催の中等学校の大合唱祭、“ザ・ビッグ・シング”についても中止を決定しました。“ザ・ビッグ・シング・フィナーレ”がその最後を飾る、地域別のフェスティバルで、毎年、全国250校から1万人近い若者が参加しています。世界各地の多くの合唱コミュニティと同じく、NZCFもまた今回のロックダウンの期間中に、この学生たちに取り組んでもらうため、バーチャル・クワイアのプロジェクトに乗り出しました。全国各地で各自のバブルのなかから歌い、180人の中等学校生たちがその声とバブルを合わせて、ニュージーランドの島々の上空を漂うすばらしい“歌声のバブル”を作りあげたのです。2020年の“ザ・ビッグ・シング”は、“バーチャル・シング”([The Virtual Sing](#))となり、エネルギッシュなマオリの歌「蟬」([A te terakihi](#))が演奏されました。



ベネズエラ・スコラ・カントルム財団からのお知らせ

ベネズエラ・スコラ・カントルム財団([Fundacion Schola Cantorum de Venezuela](#))とその会員たちは共同で動画制作に取り組み、不屈の精神と希望、合唱音楽が世界に築いた友愛を信じる気持ちを表明しています。

2020年6月6日、“We are much more than two”のスローガンのもと、ベネズエラ・スコラ・カントルム財団は、合唱曲「テ・キエロ」([Te Quiero](#))の演奏動画を公開しました。Mario Benedettiの詩を基にAlberto Faveroが作曲し、Liliana Cangianoが編曲したこの作品は、ベネズエラ合唱運動にとって、また、ラテンアメリカの多くの合唱団にとって象徴的な歌です。このバーチャル演奏のために、財団は5つの大陸の27の国から300人の歌手を

2020年7月号

合唱界をつなぐボランティア



IFCMeNEWS

集めました。参加者たちは、この歌のメッセージが万人の心に響き、歌う者同士の親近感を深めること、そして、これからも歌が歌われつづけることを願っています。いまこそ連帯を！
([We need your solidarity](#))



シンギング・ネットワークからのお知らせ

シンギング・ネットワーク([The Singing Network](#))は、新型コロナウイルス対策の情報を提供している国や地域の機関、および、国際機関を20あまりリストアップし、Covid-19情報源([Covid-19 Resources](#))をまとめました。このサイトは、有望な方策が一箇所に集約された、万人にとって便利な場となることをめざしています。リストは定期的に更新されます。追加すべきおすすめの情報源がありましたら、ぜひこちらにお送りください。[Send](#)



COVID-19 Resources

www.singingnetwork.ca/covid-19-resources/
A compendium of Covid-19 resource lists



INTERNATIONAL FEDERATION FOR CHORAL MUSIC monthly electronic newsletter

<http://ifcm.net/>
© 2018 IFCM - All rights reserved



アルゼンチン合唱連盟(AAMCANT)より、バーチャル合唱団へのお誘い

世界中の歌い手のみなさん、アルゼンチン合唱連盟([AAMCANT](#))企画のバーチャル・クワイア・プロジェクトに参加しませんか？ このプロジェクトは、アリエル・ラミレスとアストル・ピアソラを讃え、両者の生誕百周年を祝うものです。指揮者は、オスカル・エスカラダです。

詳細はこちらをごらんください。secretaria.aamcant.centenario@gmail.com



世界の合唱イベントカレンダー——2020年7月、8月

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)発行の合唱イベントカレンダー([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会(ACDA)のネットワーク、コーラルネット([ChoralNet](#))で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。